

もう少
挿入
奥まで
っちやうよ?

委員長に誘惑されて
ナカまで
絶頂
マッサージ
1

MK



んん——!!

良かったら
手伝うよ

二人で
やった方が
早いだろ?

本当?
ありがとー

いつも大変なの
分かってるから

いつも
見てて…

いつも
見てた?

ああ
いやあー!! 席隣だし
変な意味
じゃなくて 的な?
その…

だからさ
桜さんの事
意識して
いるとか
そういうの
じゃなくて
つまり
その…

ふーん…



んん…

あはん

ああーん…
そこ…いい

肩もみか!!

そうだよね!
変な事想像
しちゃったよ

と言っても
この状況…

かなり
ヤバくないか?

声正回し!

胸元見えそう…

ねえ
桐生くん

んん?!



こうかな？

はああん!!

やばい!!
調子に
乗り過ぎたか?!

いやらしい声ー!!

止めた
方が…?!

でも
抵抗はして
ないぞ?

でも
やっぱり…

えっと…
桜さん

ん?

いや…違う!!

聞いて
どうする?!

この状況で
「やめようか?」
なんて聞いたら

おしまいだ!!

ここは
思い切って!!

ブラ
きつそうだけど
外した方が
いい?

うん:
お願い

千ッ

よっしゃー!!





デカっ!!

デカっ!!

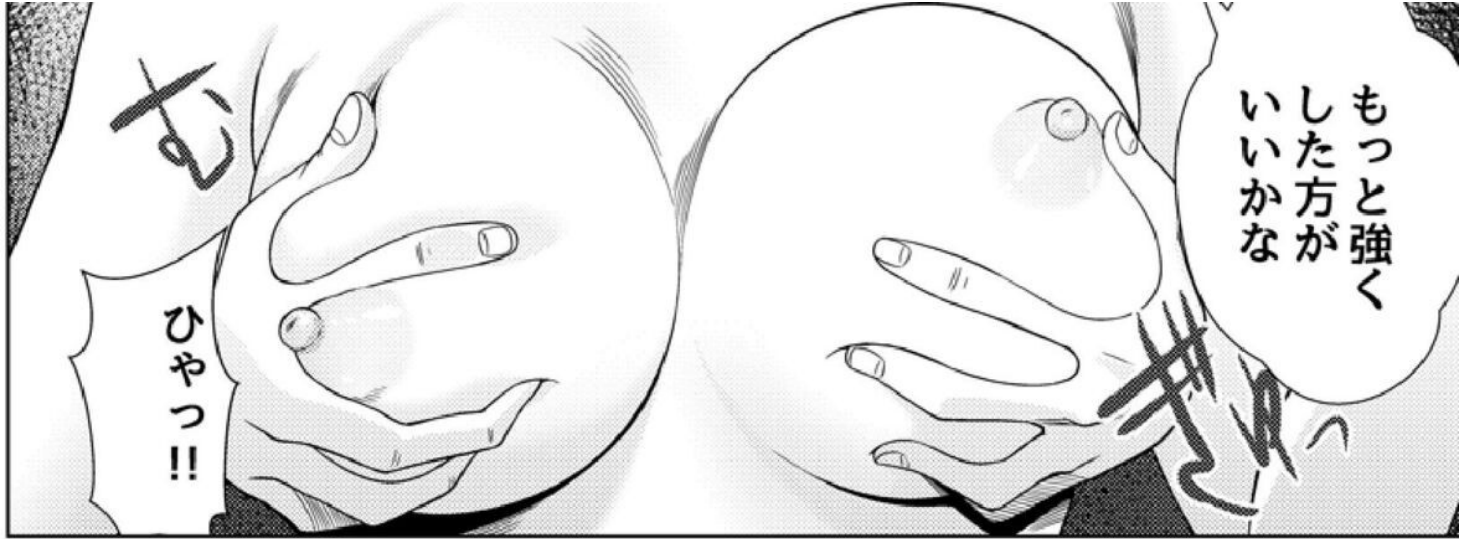
デカイのは知ってたけどこれほどだったとは!!

デカっ!!

続けるよ?

うん





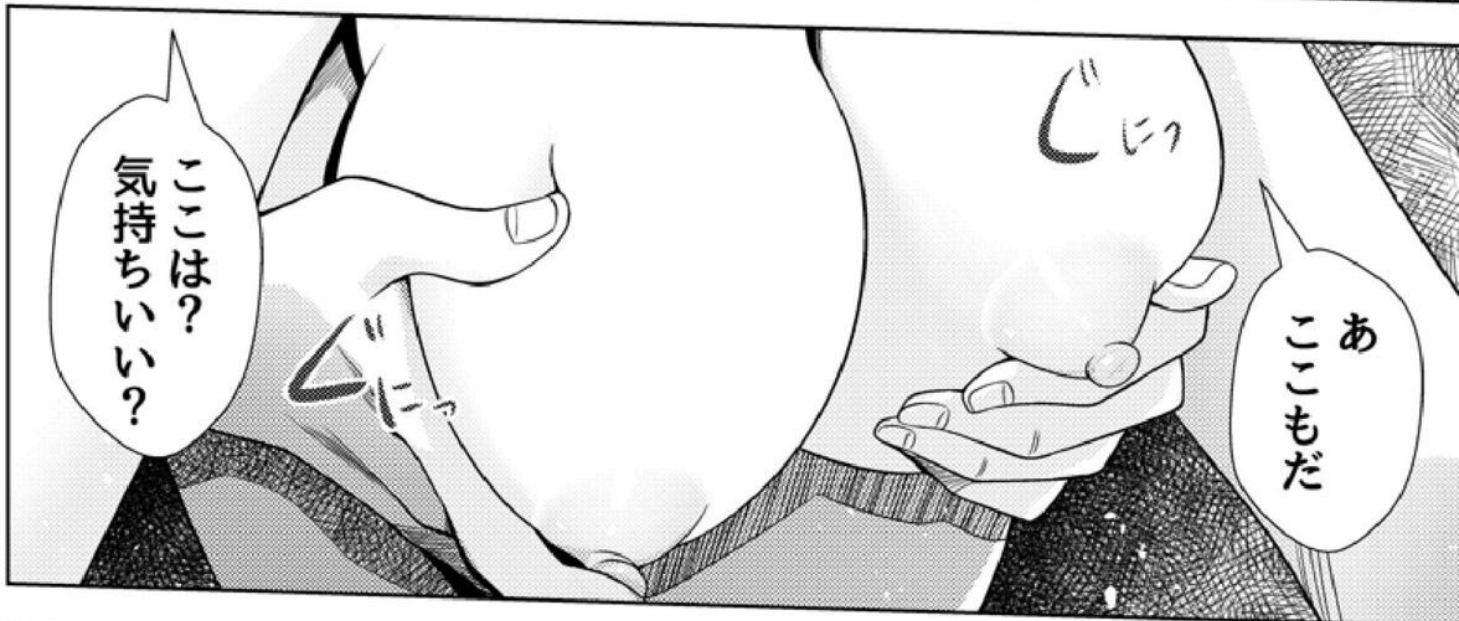
もつと強く
した方が
いいかな

ひゃっ!!



ここ凄く
硬くなってる

ちゃんとほぐして
おかないかね



あ
ここもだ

ここは?
気持ちいい?



気持ち…
いい…

ああ…っ…!!



もう…
ダメ…っ!!

えっ
今の…
いった?!

大丈夫?
びっくりした

ごめんね
つい大声
出しちゃった





やっぱり
だめっ…



そんなの
言っちゃ
だめ…
だから



やっぱさ
イってた

やあー!!

うわ…
すっげ
濡れてる

ぶっ
ぶっ



ジュア

甘い香り…
色っぽい声…

ビク

はあ…

はあ…

はあ…

ネットリ
した感触

じゃぶっ



入れて
いい？



こんなの
もう我慢
できない

桜さん
俺もう…



うん
いいよ

ぽあ

来て…

いんよ

ズズ







やっぱり
興奮してる
じゃん

さつきより
めっちゃ
締まってるよ



桐生くんが
激しく
するから...



そんな事...

こんなに
スケベ
なのに

いつも
大人ぶってて

みんな
優等生だと
思ってる

違っ…
私は別に…

普段とは
まるで違う
衝撃的で
桜さんの姿

興奮する
ものだった



ジュッパッ

桜さんをもっと感じたい

彼女をもっと知りたい

ジュッパッ

ジュッパッ

ジュッパッ

ジュッパッ

奥深くまで

知り尽くしたい

桜さん…
もう…

ジュブッ

イキそう!!

ジュブッ

ジュブッ

あ! 私も…

だめ…
イっちゃう…

ジュブッ

ジュブッ

イ…
イ…!!







あんまり
気持ち
良過ぎて

やりすぎ
ちやったよ

大丈夫？

全然平気

むしろ
すつきりした

次もまた
お手伝い
お願い
したいなー

桜さんはー

先までの姿が
まるで嘘の様に

いつもの感じに
戻っていた

俺はそんな彼女に
どうしようもなく…

どうしたの？

いや
こちらこそ
よろしく…

お願い…
します

もう少しで奥まで
挿入っちやうよ?

委員長に誘惑されて
ナカまで
絶頂 マッサージ
2

MK



はあ?!

なにニヤニヤ
してんのよ
気持ち悪い



ニヤニヤ
してないし
いい事もねーよ



なに?
そんなにいい事
あったわけ?



うるせーよ
関係ねーだろ!

一人で
にやけるのは
止めてよね
キモイから

なんでも
いいんだけどさ



いけない
いけない

しかし
すぐ顔に出て
しまったらしい



これは
いい線行ってるん
じゃないの？

あれから
桜さんとは
やり取りも
かなり増たし

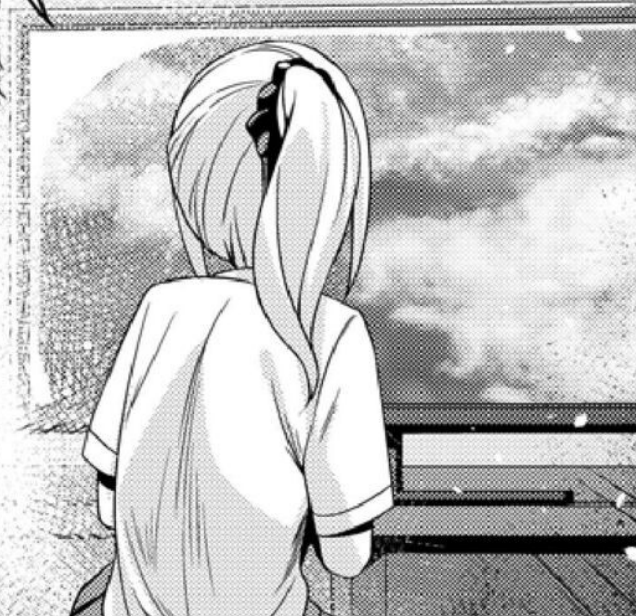


ち

絶対からかわれる!!



特にこの
腐れ縁の
幼馴染は
要注意だ



怪しいね



なに？

なんでもない

彼女でも
出来た？

いきなり
何を言う！！

図星か

違うって！！

別に
どうでも
いいけどさ

学校であんな事するの
まずいんじゃない？

え…？！



でいうか
何を知っている…?!

ごいつ
何を言っている?!

あんな事…?!



やばい!!



桜さんとのアレ

撮られてる?!



さつきから
やたらスマホ
弄ってるけど

もしかして…



え…



ゴゴゴ

なによ
いきなり
黙り込んで…



たたたつ…

ちよつと
いったい…



でも
今まで気付いて
なかったけど…



思わず勢いで!!

はっ…!!
やべーっ!!

美咲って結構
いいにおい
するんじゃない？

もう
いい加減に
して？

わりと
かわいいような
気もする

美咲のくせに!!

へッ

あーあ
ついに私まで
この変態に
やられるのかー

やだー
犯されるー
妊娠し
ちやうー(棒)

ふーん
さては
私まで
犯す気？

な…!!

イチッ

ナメやがって!!

なら
やってやろう
じゃねえか!!

ちよ
やめて...!!

わ
分かったから
これ以上は
冗談じゃ
済まないから

ね?
まさか
本気じゃ
ないよね?

...マジ?

いや
本気だ



え…
マジ？
うそでしょ？

私マジで
このまま
やられるわけ？

挑発したのは
そっちだろ！



それは…
つい調子に
乗って…

ごめん
もうこの辺で
勘弁して？

無理だ

俺もう
このままじゃ
収まらない

カ
チ
ツ

ええー!!

あ…っ

め

ん

美咲の胸を
触る時が来るとは

わ

ぐい

はうっ!!

…んん!!

照れてる顔…

こんな表情が
出来るやつ
だったけ

っ

これじゃ
本気で興奮
してくる
じゃないか！

もつと
派手に…

あっ…

んん…っ

行っちゃうか！

っっ…！

ちよ
ちよつと
そこまで
する気？！

今さら
なに
言ってるんだ

当然だろ？
やるんだから！

ジューッ

やつ…
ちよつ…
あつ!!

なんだ
もうこんなに
気持ち良さそうな
音出してる
じゃないか

ジューッ

どれだけ
遊んでんだよ

めつちや
敏感だな
お前

おっぱい
ちよつと
触っただけで
これか

ジューッ

すっげ

違う！
違う!!

ああ？
もっと奥まで
欲しいって?!

しょうが
ないな!

ひ
ひ
ひやつ!!

ひゃあ
ひゃあ
ひゃあ

ヒョ
ッ

びゅ
ん

ビ
ン

うわ…
マジかよ

びゅ
ん

これくらいで
いくとか
半端ねーな!

美咲…いつから
こんなスケベな
女になったんだよ

はあ

はあ

はあ

はあ





そうそう
間に挟んで

上手いじゃん！
気持ちいいー



もっと
寄せて

先っちょ
口で啜えて

く
口で？



こう
するん
だよ



ち
違うって！！

美咲やっぱり
そうとう
やりまくっ
てるんだろ？



んん!!

うおー
すっげえ
いい

美咲の口の中
めっちゃ
気持ちいい



もっと
強く吸って

ああ…
気持ち良すぎ
やばっ…!!

ハッ

ッ



うへー
すごい
匂い

思ったより
キツイねこれ

まだ喉に
引っかかっている

の飲んだ
のかよ

流石だな
遊んでるヤツは
経験が違うよな

なに勝手な事
言ってるのよ

私その…
これが
初めて
なんだから

エ…
ええっ?!

やりまくっ
てるとか
遊んでるとか

勝手な勘違い
しないでよね



ぶんす



え？待って
もしかして…
処女？！
お前が？！

そうよ！
悪い？！

だってお前
いつもチャライ
格好だし
どう見ても…

失礼ね！
それはそれ！
これはこれ！



なんか
悪いな…
そうとも
知らず
強引に…

…あ
でも



始めた事は
とことん
最後まで
やるよ？

やっぱり
強引じゃん！！

…あつ

経験なくても
こんなにも
敏感ってことは

ひとりです
ずいぶん
してたんだろ？

な…!!
まあ…そう
…だけど

予習も
バッチリだし

わかった
わかった
でもやっぱ
怖いし…
優しく…ね

絶対
ひとりの時より
気持ちいいって

じゃあ

行くよ

分かった

んん…

っん…!!



はうっ!!

すっげ!!
めっちゃ
キツキツ!!



いたっ!
もうちよつと
ゆっくり…

ああ
ああ

どッ



動いて
みよっか

うん



大丈夫?
痛い?

ちよつと…
でもまだ平気



すぐにも
激しく
ぶつきたい

ジュブッ

ジュブッ

でも美咲にも
気持ち良くなつて欲しい

ジュブッ



もどかしさと
愛しさが
入り混じって

今は
どう?

まだ痛い
...けど



言葉にならない
感情になってる

なんだか...

変な
気持ち...
かも

じゃ
もっと強く！

ジュブッ

ジュブッ

ジュブッ

あっ！
ちよ！
だめ！！

こんなの…

ジュブッ

ジュブッ

いきなり
激しすぎ！

おかしく
なっちゃう

うつ…
気持ち良過ぎ

もう
イキそうだ

イクよ！

美咲
イクよ！



はあ…

はあ…

はあ…

んん…

ん…



もう少しで奥まで
挿入っちゃうよ??

委員長に誘惑されて
ナカまで
絶頂 マッサージ
3

MK



おはよう
桐生くん



あ 桜さん
おはよう

彼女は
桜綾乃



成績優秀で
素行もいい

誰もが認める
クラスの優等生だ



隣の席の彼女が
前から
気になっでは
いたけど

なかなか
踏み出せる
勇気がなかった

…けど

今
彼女とは

んん!!

ああつ…!!

あんまり
声出すと
バレちゃうよ

毎日のように
身体の関係を
持つ仲と
なっている

ミュー

ミュー

ミュー

んーんっつ!!

やべ…
そろそろ

イキそ

ミュー

う…
イク…!

ト
イキ



少しでも
時間があれば



はあ...



はあ...

どんな
場所でも
構わずに
やってしまった

ねえ
ちよつと

流石に
ここは
見えすぎ
だよ

大丈夫
大丈夫

すぐ
終わらせれば
いいって

ジュア

ジュア

ジュア



驚いたことは

桜さんが

イメージとは
裏腹に

物凄く
積極的
だったこと

度重なる
行為でも
いやな顔は
全然見せず

むしろ俺よりも
楽しんでるような
様子にも見えた

ははははは

ははははは

ははははは

ははははは





なあ
見ろよ
あれ

やってるねー

女子は
陸上か



ザザッ!!

や



ん?
ああ
桜さんか

やばく
ね?



マジ
でかくね?

体操着でも
すっげ
目立つくらい
なんだよな

それに
あの身体で
あの顔立ち
とか
反則じゃね?

あの清楚感!
たまんねーよな



なんだよ達樹
お前も興味
あんのか？

え？知らない？
こいつ
桜さんの事
好きなんだぜ

ちげーよ！

マジかよ
お前…

ま
俺も最近
聞いた話なん
だけどさ

実はよ

最初から
それくらいの
相手だったって
わけか…

思えばなぜか
めっちゃ
慣れてるような
気したよな…

つてことは
結局俺も
その中の一人…

本当に…

本当に
そんなもん
なのかよ…

あれ？
桐生くん

バカみたいだ…

いい気になつて
浮かれていたのは
自分だけか



まだ
残ってたんだね

一人なの？
誰か
待ち合わせ？

いや…

まずい…!!

つつ!!

今は自然に
言葉が出ない

普通に話し
するとか

とても
そういう
状態じゃない



どうしたの？
顔色悪いん
だけど

いやあー
大丈夫だよ！
なんでもない

ちょうど
今帰る所
だったんだ

そっかー

じゃあさ…

ふたりで
どっか
行かない？

いつもの
合図!!

いつもなら
即OKだけど

やっぱ
今は…

うん…

ごめん
今日は
ちよつと
ダメなんだ

先帰るよ!

え？
あ…



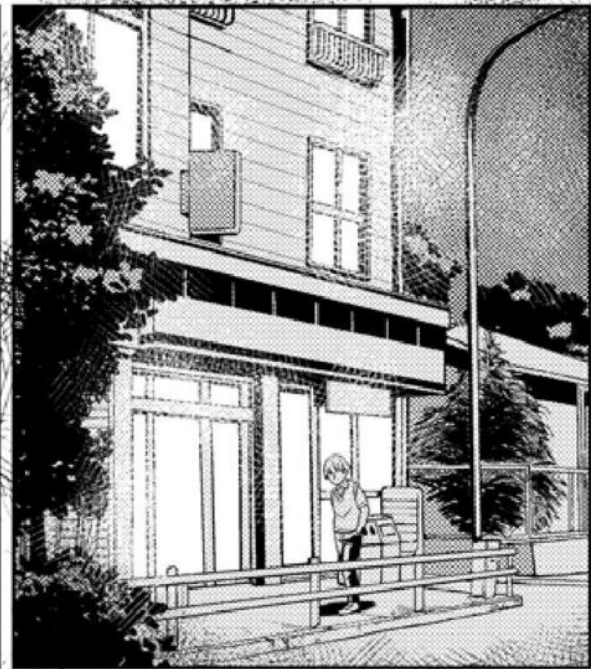
今日は
そういうの
じゃなくて

本当に二人で
どっか行きた
かったなあ…



それに
考えてみれば

くっそ…
やっちゃまった
あまりにも
不自然
すぎだろ



ただの噂話
じゃないか

事実という
根拠は何もない

悪質な噂など
あるものだ

なのになぜ…



俺はこんなに
動揺しているんだ

数日後

桐生くん
最近変だよ？

昨日も
私の相手
全然してくれ
なかったじゃん

そ
それは…

何か
あったの？

何もないよ！
何でもない！

違うよ！

もう
私には
飽きたの
かな

そんな
じゃない！
むしろ…

そう…
じゃあ
あれかな

むしろ…

まあ
そうだよ

きっと色々
あったんだよね
そう
だよ？

え？
ちよ…
待ってよ

私がいつぱい
サービス
しちやおっと

スッ

桐生くん

最近元気ない
みたいからさ



ふーん
そんな気分
じゃない？



今そんな
気分じゃ…



じゃ
ここは
なんで
こんなに
元気なの？

ぐっ！！



ん…

ジュッ



ん

ジュッ



こんな時でも
着実に身体は
反応してしまう

憎い…
仕方がない！

ジュッ

ぐっ…!!

たった数日
してなかつた
だけなのに

この
気持ち
良さ…!!

いつでも
出して
いいよ

このまま

今にも
果てて
しまいそうだ

でも
このまま
終わらせたくない

うっ…
いいよ
もう

ちゃんと
中に入りたい

あ
の





それだけだ



色々溜まってるんだよね

いいよ
もっと
激しくしても

あゝ



じゃ
遠慮なく

全部
ぶっ放して
やるよ!



2日間一発も
出さずに
溜めてたんだ



最後の
一滴まで
全部出して
やるからね!





中に？

それとも
口に？

どっちに
して欲しい？



わかんない…

どっちも
全部…

何度でも
行くよ

じゃあ



はあ…

はあ

はあ

え…
すごっ…

まだ
全然
収まらない

まだまだ
足りないんだ

また
行くよ？

んんー!!



溜まっていた
から...

それだけじゃ
なかった



もやもやした
気分

もどかしい
気持ち

それらを
全部

彼女に

吐き出す

かのように



何度も何度も果てた

いもも



はあ

はあ

ゴクッ

ゴク

はあ

はあ

びっ
り

はあ

あのさ
桜さん

ん？

実は…

実はさ…

変な噂を
聞いたんだ
桜さんの

噂？
…私の？

それが
気になって
仕方なくて

へえ…
どんな？

それが…

たとえば

…え？

うるっ…

いや!
だからその…
あくまで
噂話で…

ごめん
別に変な
意味じゃ

だから
その…

…ごめん

私帰る

タッ

タタタ…

最低だ

俺…

もえス☆ BEAST

もう少しで奥まで
挿入っちゃうよ？

委員長に誘惑されてナカまで
絶頂マッサージ

作：MK